

令和5年度 第1回市川市公民館運営審議会

次 第

日時及び会場： 7月12日（水）13：30～
市川市生涯学習センター 3階 第2研修室

1. 開 会

2. 挨拶・自己紹介

3. 議 題

- (1) 公民館運営審議会役員の選出について
- (2) 令和6年度市川市公民館主催講座・連携事業等運営方針（案）
について

4. 報 告

- (1) 令和4年度公民館事業報告について
 - ・公民館事業
 - ・主催講座開催実績
- (2) 令和5年度前期主催講座・連携事業等の実施状況について
 - ・令和5年度の実施概要
 - ・公民館からの状況報告（7館）
鬼高公民館、信篤公民館、大野公民館、西部公民館、
市川駅南公民館、幸公民館、菅野公民館

5. 閉 会

令和6年度 市川市公民館主催講座・連携事業等運営方針

市川市教育委員会
生涯学習部 社会教育課

市川市公民館は、社会教育法の理念に基づき、市川市教育振興基本計画に掲げる「自分らしく輝くための学び」の環境の実現と学びのセーフティネットを構築することを目指して、市民等に多様な学習機会を提供し、以て生涯学習の推進を図る。また、同基本計画で施策とする「公民館を活用した地域の学習拠点づくり」のため、近隣の学校や地域活動団体が行う学習や交流の事業が促進されるよう、情報共有や会場提供による支援に努めるものとする。

- [1] 主催講座の実施（学習機会の提供と学習成果の活用）
- [2] 地域の学習や交流への支援（地域と関わる人や活動を結び育む役割）

1. 年間で取組むテーマの設定

(1) 全館共通のテーマ

○「学校・地域との連携」

教育振興基本計画において、「公民館を活用した地域の学習拠点づくり」が施策として掲げられ、学校や地域の人材を活用し、連携を図ることで地域に密着した公民館の運営に取り組むこととされていることから、各館の講座と地域交流イベント、地域の学習や交流への支援を通して実現が図られるよう、全館共通のテーマとするもの。

(2) 公民館ごとのテーマ

地域の課題や学習ニーズ、公民館の立地・環境・施設の特徴等をふまえ、各公民館が各年度において独自のテーマを設定し、講座等の企画・運営に反映するよう努めるもの。

2. 主催講座の実施

住民の学習ニーズや生活課題を把握し、教養の向上・健康づくり・子育て支援・地域社会とのつながりづくりを意識した主催講座を実施するとともに、地域住民が地域を支

える団体と出会い、つながる機会を提供し、地域への愛着や関心を育むことができるよう、公民館周辺の特色や人材を活用した「地域交流イベント」を開催する。また、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）などを活用して、時間や場所の制約に捉われずに学習活動できる機会の提供を行う。

受講者が学んだ成果を活用できるよう、サークル活動や地域活動への参加を支援する。

(1) 主催講座の実施

- ・地域における課題やニーズを把握し、市の施策をふまえた内容に取り組む。
- ・公民館で行う講座（以下、対面型講座）、オンライン講座ともに、全館共通のテーマ「学校・地域との連携」に沿った内容となるように努め、地域の人材活用を図り、効果的な形態や方法を取り入れ、より質の高い社会教育の機会を提供できるように取り組む。
- ・各講座のテーマや内容は、学習内容別大分類（4ページ参照）から偏りがないように選択するとともに、公民館運営審議会の意見の反映に努める。
- ・対面型講座では、新型コロナウイルス情勢に合わせた感染防止対策を講じる。なお、対面型の講座が開催できない状況にあつては、他の方法を用いて市民の学習機会の確保に努める。

◎対面型講座

- ・前期（4～9月）及び後期（10～3月）の年2回を開催時期として、年度内に計200講座程度を企画、実施する。
- ・1講座当たりの回数は3回を目安とするが、学習のねらいや内容、期待する効果に合わせて回数を増減し、適切に設定する。
- ・様々な立場の市民等に受講の機会を提供できるように、土曜・日曜や夜間の講座など、開催日時への配慮に努める。

◎オンライン講座

- ・市民等の学習機会の拡充を図るため、受講者の都合に合わせて視聴できるオンライン講座では、市内や各地域の特色を活かした内容や、公民館に足を運ぶことが難しい受講者層への学習機会の提供に努める。
- ・市公式YouTubeチャンネルによる動画配信を主たる方法とし、また、学習内容によってはweb会議方式も検討、実施する。

(2) 講座の学習成果を活かせる機会の提供・支援

- ・各講座において、公民館から受講者に対して、積極的にサークルの案内や今後の活動に繋がる情報の提供に努める。
- ・文化祭などで、講座で得た学習成果を発表する場を設ける。

- ・公民館で活動するサークルとも連携を図り、講座からサークルへの継続的な学習、サークルから講座へ学習成果を還元できる流れを作る。

(3) より良い講座を目指した事業評価

- ・各講座終了後に、受講者アンケートを実施する。
- ・受講者アンケートをもとに講座を分析し、運営上の課題検証を行う。

○主催講座における学校・地域との連携の例

<連携の内容>

- ・地域課題の掘り起こし
学校や地域住民の団体等から情報収集し、講座の企画に活かす
- ・地域の人材の活用
学校教員や地域で活動する人材、公民館で活動するサークル等を指導者として活用
- ・受講者の募集
自治会の掲示板や回覧版の活用。受講対象者や内容に応じて学校・地域の施設や団体に講座案内を配布
- ・講座の企画運営 学校・地域と協働し、講座を企画・運営する
- ・イベントの開催
公民館周辺地域の特色や人材の活用、学校・地域団体との協働、学校や地域の施設の活用

<連携の対象>

- ・連携先となる学校
幼稚園 小・中学校、高等学校、特別支援学校、大学、各種専修学校等
PTA、家庭教育学級、学校運営協議会等、各学校の関連団体
- ・連携先となる地域
サークル、自治会、子ども会、高齢者クラブ、NPO団体、ボランティア団体、地元商店会、医療機関、福祉施設、保育園、こども館、放課後保育クラブ等

○学習課題による講座の分類

学習内容別分類

* 【1】から【4】までの分野（大分類）は千葉県社会教育調査に合わせています。

【1】 教養の向上

- ① 外国語や外国の文化・習慣を学ぶ講座
- ② 文学・歴史・自然科学・心理学等を学び、幅広い教養を身につける講座
- ③ 伝統文化や芸術の鑑賞等をとおして、人生や生活を豊かにする講座
- ④ その他、さまざまな知識の習得やテーマ研究をとおして教養の向上を図る講座
- ⑤ 華道・茶道・芸能・音楽・書道・美術・手工芸・囲碁・将棋等、制作や技法習得の講座
- ⑥ パソコンやスマートフォン、タブレット等の基礎的なITスキルを身につける講座

【2】 体育・レクリエーション

- ① 運動・レクリエーション等を通じて、健康な心と身体づくりを促進する講座

【3】 家庭教育・家庭生活

- ① 未就学児の親子や子育て期の親等を対象とする子育て・家庭教育を支援する講座
- ② 子どもの体験活動や実践活動、地域との交流を促進する講座
- ③ 生活習慣病の予防や食育等、健康的な家庭生活に役立つ講座
- ④ 介護や看護に関する技能や知識・制度等を学ぶ講座
- ⑤ 住環境や家事・生活設計等、暮らしの知恵を学び、良好な家庭生活を促進する講座

【4】 職業知識・社会連帯意識

- ① 職業に関する知識習得や就労の支援に役立つ講座
- ② 政治・経済・国際情勢等、社会の構成員としての自覚を育む身近な社会問題への理解
- ③ ごみ問題や自然保護等、環境保全について学び考える機会となる講座
- ④ 男女共同参画への支援や、人権問題への理解につながる講座
- ⑤ 高齢者の生きがい、仲間づくり、地域活動への参加を促進する講座
- ⑥ 市内及び県内の歴史や文化・自然を学び、郷土の誇りや愛着の心を育む地域づくりにつながる講座
- ⑦ 学校卒業後における障がい者の学びや自立の支援となる講座
障がいを持つ方への理解を深め、支援や交流を行うきっかけとなる講座
- ⑧ ボランティア活動への参加のきっかけとなる講座
- ⑨ 防災・防犯対策等、市民等の安全な生活に関する知識を深める講座

【5】 地域交流イベント

- ① 公民館で活動するサークルや、公民館周辺の地域や学校との連携を図り、世代間交流の促進等の機会となるイベント
- ② 公民館周辺地域の住民の集いの場となるイベント

3. 地域の学習や交流への支援

地域コミュニティの増進が図られるよう、近隣の学校や地域が主体となった交流行事等の際に公民館を活用することや、公民館で活動しているサークル等が学校や地域の行事に参加するなど、地域と公民館が連携して行うものを、「学校・地域との連携」の関連事業として位置付ける。

各公民館において取扱った事例は報告書を適宜作成するとともに、社会教育課と全公民館で情報共有を図ることにより、地域の繋がりづくりへの支援や、今後の主催講座での連携に役立てることを目指す。

○取組みの例

1 住民参加の行事における公民館の利用及び連携

- ・近隣の学校や地域活動団体等が主催する住民参加の行事に対し、公民館の会場（敷地内を含む）を提供する。また、対象となる住民への周知等、参加の促進に繋がる支援や協力を公民館が行うことに努める。

*主催者（構成員）のみで行う会議や行事準備に貸室だけをしているものは含まない

2 公民館のサークル等と学校や地域との関わり

- ・主催講座から発展したサークルが、近隣の学校や地域での行事への参加や、ボランティア活動を行う。
- ・公民館が紹介したサークル等が学校行事や地域行事に関わる。

*講師や会員が個人として関わるものは含まない

- ・公民館で活動するサークルや利用者団体協議会等が、地域住民向けに交流イベントや発表会等を行う。（館内での実施を含む）

*専ら会員募集を目的として、個々のサークルが単独で行うものは含まない

3 公民館の事業や利用に関するPRの機会

- ・学校や地域の行事等において、施設利用やサークル活動等を紹介するなど、公民館について理解を図る機会を提供し、公民館事業や利用促進に役立つ効果が期待できるもの

4 その他

- ・公民館の行事や施設環境整備等で、学校や地域の協力により行われたもの

◆ 法令上の公民館主催講座事業の位置づけ

社会教育法

平成20年6月改正

第五章 公民館

(目的)

第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

(公民館の事業)

第22条 公民館は、第20条の目的達成のために、おおむね左の事業を行う。但し、この法律及び他の法令によって禁じられたものは、この限りでない。

- 一、 定期講座を開設すること。
- 二、 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会を開催すること。
- 三、 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- 四、 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- 五、 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- 六、 その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

公民館の設置及び運営に関する基準

平成15年6月 文部科学省

(地域の学習拠点としての機能の発揮)

第3条 公民館は、講座の開設、講習会の開催等を自ら行うとともに、必要に応じて学校、社会教育施設、社会教育関係団体、NPO(特定非営利活動促進法(平成10年法律第7号)第2条第2項に規定する特定非営利活動法人をいう。)その他の民間団体、関係行政機関等と共同してこれらを行う等の方法により、多様な学習機会の提供に努めるものとする。

- 2 公民館は、地域住民の学習活動に資するよう、インターネットその他の高度情報通信ネットワークの活用等の方法により、学習情報の提供の充実に努めるものとする。

(地域の家庭教育支援拠点としての機能の発揮)

第4条 公民館は、家庭教育に関する学習機会及び学習情報の提供、相談及び助言の実施、交流機会の提供等の方法により、家庭教育への支援の充実に努めるものとする。

(奉仕活動・体験活動の推進)

第5条 公民館は、ボランティアの養成のための研修会を開催する等の方法により、奉仕活動・体験活動に関する学習機会及び学習情報の提供の充実に努めるものとする。

(学校、家庭及び地域社会との連携等)

第6条 公民館は、事業を実施するに当たっては、関係機関及び関係団体との緊密な連絡、協力等の方法により、学校、家庭及び地域社会との連携の推進に努めるものとする。

- 2 公民館は、対象区域内に公民館に類似する施設がある場合には、必要な協力及び支援に努めるものとする。
- 3 公民館は、その実施する事業への青少年、高齢者、障害者、乳幼児の保護者等の参加を促進するよう努めるものとする。
- 4 公民館は、その実施する事業において、地域住民等の学習の成果並びに知識及び技能を生かすことができるよう努めるものとする。

その他参考法令

- ・教育基本法 第3条 生涯学習の理念 第12条 社会教育
第13条 学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力
- ・社会教育法 第32条 運営の状況に関する評価等

公民館の主催講座と市の各種計画

基本となる主な計画

市川市総合計画	【基本理念】 「人間尊重」「自然との共生」「協働による創造」 【基本目標】 1 真の豊かさを感じるまち [第3節] 生きがいを見いだす、いきいきとした生涯学習社会をつくれます
---------	---



市川市教育振興基本計画（第3期 平成31～令和5年度）	
基本理念	「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」
基本的な考え方	1 多様な人との関わりを大切にして、個人の自立を促すとともに、社会の一員としての自覚を養う教育を進める 2 一人一人が、主体的に学び、個性を伸ばし可能性を広げることのできる教育を進める 3 学びや育ちの連続性と社会との連携を強化し、豊かな人間性を育む教育を進める。

以上の基本理念と基本的な考え方をふまえ、家庭・学校・地域の連携・協働の下、市川市が取り組む教育政策の方針を次の3つに定めた。

【方針1】

感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

【方針2】

“自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

【方針3】

社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する

(目標6)

人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する

具体的な施策として「公民館を活用した地域の学習拠点づくり」が主な施策として挙げられ、地域の学習拠点として、公民館に対する各地域のニーズや実態を把握し、公民館の持つ機能の有効利用を図るとともに、学校や地域の人材を活用し、連携することで地域に密着した公民館運営をすることとしている。また、主な事業として「公民館主催講座活動事業」が位置づけられている。

令和5年度 市川市公民館主催講座・連携事業等運営方針

市川市教育委員会
生涯学習部 社会教育課

市川市公民館は、社会教育法の理念に基づき、市川市教育振興基本計画に掲げる「“自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する」ことを目指して、市民等に多様な学習機会を提供し、以て生涯学習の推進を図る。また、同基本計画で施策とする「公民館を活用した地域の学習拠点づくり」のため、近隣の学校や地域活動団体が行う学習や交流の事業が促進されるよう、情報共有や会場提供による支援に努めるものとする。

- [1] 主催講座の実施（学習機会の提供と学習成果の活用）
- [2] 地域の学習や交流への支援（地域と関わる人や活動を結び育む役割）

1. 年間で取り組むテーマの設定

(1) 全館共通のテーマ

○「学校・地域との連携」

教育振興基本計画において、「公民館を活用した地域の学習拠点づくり」が施策として掲げられ、学校や地域の人材を活用し、連携を図ることで地域に密着した公民館の運営に取り組むこととされていることから、各館の講座と地域交流イベント、地域の学習や交流への支援を通して実現が図られるよう、全館共通のテーマとするもの。

(2) 公民館ごとのテーマ

地域の課題や学習ニーズ、公民館の立地・環境・施設の特徴等をふまえ、各公民館が各年度において独自のテーマを設定し、講座等の企画・運営に反映するよう努めるもの。

2. 主催講座の実施

住民の学習ニーズや生活課題を把握し、教養の向上・健康づくり・子育て支援・地域社会とのつながりづくりを意識した主催講座を実施するとともに、地域住民が地域を支

える団体と出会い、つながる機会を提供し、地域への愛着や関心を育むことができるよう、公民館周辺の特徴や人材を活用した「地域交流イベント」を開催する。また、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）などを活用して、時間や場所の制約に捉われずに学習活動できる機会の提供を行う。

受講者が学んだ成果を活用できるよう、サークル活動や地域活動への参加を支援する。

(1) 主催講座の実施

- ・地域における課題やニーズを把握し、市の施策をふまえた内容に取り組む。
- ・公民館で行う講座（以下、集合型講座）、オンライン講座ともに、全館共通のテーマ「学校・地域との連携」に沿った内容となるように努め、地域の人材活用を図り、効果的な形態や方法を取り入れ、より質の高い社会教育の機会を提供できるように取り組む。
- ・各講座のテーマや内容は、学習内容別大分類（4ページ参照）から偏りがないように選択するとともに、公民館運営審議会の意見の反映に努める。
- *集合型講座では、新型コロナウイルス情勢に配慮し、受講時の感染防止対策を講じるとともに、集合型の講座が開催できない状況にあつては、他の方法を用いて市民の学習機会の確保に努める。

◎集合型講座

- ・前期（4～9月）及び後期（10～3月）の年2回を開催時期として、年度内に計200講座程度を企画、実施する。
- ・1講座当たりの回数は3回を目安とするが、学習のねらいや内容、期待する効果に合わせて回数を増減し、適切に設定する。
- ・様々な立場の市民等に受講の機会を提供できるように、土曜・日曜や夜間の講座など、開催日時への配慮に努める。

◎オンライン講座

- ・市民等の学習機会の拡充を図るため、受講者の都合に合わせて視聴できるオンライン講座を、全公民館と社会教育課において実施する。
- ・オンライン講座では、各公民館の地域の特色を活かした内容や、公民館に足を運ぶことが難しい受講者層への学習機会の提供に努める。
- ・市公式YouTubeチャンネルによる動画配信を視聴する講座や、web会議方式を活用して講師と対話しながら受講する講座など、学習内容により手法を使い分ける。

(2) 講座の学習成果を活かせる機会の提供・支援

- ・各講座において、公民館から受講者に対して、積極的にサークルの案内や今後の活

動に繋がる情報の提供に努める。

- ・文化祭などで、講座で得た学習成果を発表する場を設ける。
- ・公民館で活動するサークルとも連携を図り、講座からサークルへの継続的な学習、サークルから講座へ学習成果を還元できる流れを作る。

(3) より良い講座を目指した事業評価

- ・各講座終了後に、受講者アンケートを実施する。
- ・受講者アンケートをもとに講座を分析し、運営上の課題検証を行う。

○主催講座における学校・地域との連携の例

<連携の内容>

- ・地域課題の掘り起こし
学校や地域住民の団体等から情報収集し、講座の企画に活かす
- ・地域の人材の活用
学校教員や地域で活動する人材、公民館で活動するサークル等を指導者として活用
- ・受講者の募集
自治会の掲示板や回覧版の活用。受講対象者や内容に応じて学校・地域の施設や団体に講座案内を配布
- ・講座の企画運営
学校・地域と協働し、講座を企画・運営する
- ・イベントの開催
公民館周辺地域の特色や人材の活用、学校・地域団体との協働、学校や地域の施設の活用

<連携の対象>

- ・連携先となる学校
幼稚園 小・中学校、高等学校、特別支援学校、大学、各種専修学校等
PTA、家庭教育学級、学校運営協議会等、各学校の関連団体
- ・連携先となる地域
サークル、自治会、子ども会、高齢者クラブ、NPO団体、ボランティア団体、地元商店会、医療機関、福祉施設、保育園、こども館、放課後保育クラブ等

○学習課題による講座の分類

学習内容別分類

*【1】から【4】までの分野（大分類）は千葉県社会教育調査に合わせています。

【1】教養の向上

- ① 外国語や外国の文化・習慣を学ぶ講座
- ② 文学・歴史・自然科学・心理学等を学び、幅広い教養を身につける講座
- ③ 伝統文化や芸術の鑑賞等とおして、人生や生活を豊かにする講座
- ④ その他、さまざまな知識の習得やテーマ研究をおして教養の向上を図る講座
- ⑤ 華道・茶道・芸能・音楽・書道・美術・手工芸・囲碁・将棋等、制作や技法習得の講座
- ⑥ パソコンやスマートフォン、タブレット等の基礎的なITスキルを身につける講座

【2】体育・レクリエーション

- ① 運動・レクリエーション等を通じて、健康な心と身体づくりを促進する講座

【3】家庭教育・家庭生活

- ① 未就学児の親子や子育て期の親等を対象とする子育て・家庭教育を支援する講座
- ② 子どもの体験活動や実践活動、地域との交流を促進する講座
- ③ 生活習慣病の予防や食育等、健康的な家庭生活に役立つ講座
- ④ 介護や看護に関する技能や知識・制度等を学ぶ講座
- ⑤ 住環境や家事・生活設計等、暮らしの知恵を学び、良好な家庭生活を促進する講座

【4】職業知識・社会連帯意識

- ① 職業に関する知識習得や就労の支援に役立つ講座
- ② 政治・経済・国際情勢等、社会の構成員としての自覚を育む身近な社会問題への理解
- ③ ごみ問題や自然保護等、環境保全について学び考える機会となる講座
- ④ 男女共同参画への支援や、人権問題への理解につながる講座
- ⑤ 高齢者の生きがい、仲間づくり、地域活動への参加を促進する講座
- ⑥ 市内及び県内の歴史や文化・自然を学び、郷土の誇りや愛着の心を育む地域づくりにつながる講座
- ⑦ 学校卒業後における障がい者の学びや自立の支援となる講座
障がいを持つ方への理解を深め、支援や交流を行うきっかけとなる講座
- ⑧ ボランティア活動への参加のきっかけとなる講座
- ⑨ 防災・防犯対策等、市民等の安全な生活に関する知識を深める講座

【5】地域交流イベント

- ① 公民館で活動するサークルや、公民館周辺の地域や学校との連携を図り、世代間交流の促進等の機会となるイベント
- ② 公民館周辺地域の住民の集いの場となるイベント

3. 地域の学習や交流への支援

地域コミュニティの増進が図られるよう、近隣の学校や地域が主体となった交流行事等の際に公民館を活用することや、公民館で活動しているサークル等が学校や地域の行事に参加するなど、地域と公民館が連携して行うものを、「学校・地域との連携」の関連事業として位置付ける。

各公民館において取扱った事例は報告書を適宜作成するとともに、社会教育課と全公民館で情報共有を図ることにより、地域の繋がりがづくりへの支援や、今後の主催講座での連携に役立てることを目指す。

○取組みの例

1 住民参加の行事における公民館の利用及び連携

- ・近隣の学校や地域活動団体等が主催する住民参加の行事に対し、公民館の会場（敷地内を含む）を提供する。また、対象となる住民への周知等、参加の促進に繋がる支援や協力を公民館が行うことに努める。

*主催者（構成員）のみで行う会議や行事準備に貸室だけをしているものは含まない

2 公民館のサークル等と学校や地域との関わり

- ・主催講座から発展したサークルが、近隣の学校や地域での行事への参加や、ボランティア活動を行う。

- ・公民館が紹介したサークル等が学校行事や地域行事に関わる。

*講師や会員が個人として関わるものは含まない

- ・公民館で活動するサークルや利用者団体協議会等が、地域住民向けに交流イベントや発表会等を行う。（館内での実施を含む）

*専ら会員募集を目的として、個々のサークルが単独で行うものは含まない

3 公民館の事業や利用に関するPRの機会

- ・学校や地域の行事等において、施設利用やサークル活動等を紹介するなど、公民館について理解を図る機会を提供し、公民館事業や利用促進に役立つ効果が期待できるもの

4 その他

- ・公民館の行事や施設環境整備等で、学校や地域の協力により行われたもの

7. 令和4年度 公民館事業報告

事務事業	概要	決算見込額(円)※ (令和5年7月現在)
1 公民館維持管理事業	市民の身近な生涯学習施設として供するため、施設の性能維持と安全性確保・適切な保全等を行った。 ・施設数 15公民館 ・施設管理委託料 建物等清掃業務委託、空調設備保守点検業務委託など 17業務実施	98,321,577 予算現額 107,271,466 不用額 8,949,889
2 公民館運営事業	○ 公民館運営審議会 館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施につき、調査審議した。 ・ 公民館運営審議会委員 10名 ・ 開催回数 年2回 ○ 公民館運営に係る職員雇用 〔 管理運用マネージャー(会計年度任用) 8名(4公民館 各2名) ・ 公民館職員 日勤 (会計年度任用) 101名 ・ 公民館職員 夜勤 (会計年度任用) 30名 〕 ※会計年度任用職員の報酬は、教育総務費(職員課予算)に計上 ・ 夜間窓口等業務委託 ○ 事業用機械器具費 各施設の机・椅子等の備品整備、老朽化した備品を更新した。 ○ 文化祭 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施は見合わせた。	37,654,566 予算現額 38,313,534 不用額 658,968
3 公民館主催講座 活動事業	○ 公民館主催講座 公民館で行う対面型講座と、動画配信型のオンライン講座を実施した。 ・ 開催数 213講座 (社会教育課主催講座1講座を含む) ・ オンライン講座数(動画配信型) 19講座(双方向型オンライン1件を含む) ・ 講師謝礼金 3,850千円 ○ 公民館講座情報紙(ミーティアムガイド)の発行 年2回配布 令和4年9月 令和4年度後期主催講座受講者募集案内 令和5年3月 令和5年度前期主催講座受講者募集案内	5,478,061 予算現額 7,385,000 不用額 1,906,939
4 公民館営繕事業	○ 施設修繕料 各施設の老朽化が進み、修繕箇所が年々増加しているため、緊急性等を考慮し、計画的・効率的に修繕を実施した。 ○ 取壊し工事費 多様な市民ニーズに対応可能な複合施設を整備するため、八幡分庁舎に隣接する中央公民館の解体を令和3~4年度にかけて行った。 ○ 改修工事費 施設の安全性・快適性・長期保全の視点から計画的に建物及び設備等の改修工事を行うもの。令和4年度は、東部公民館において空調機の改修工事を実施した。	111,810,358 予算現額 184,087,280 不用額 72,276,922
	合 計	253,264,562 予算現額 337,057,280 不用額 83,792,718

※決算見込額については、市川市議会における決算の認定を経て確定となります。

令和4年度 公民館主催講座(年間) 開催状況表

令和5年3月31日

館名	実施概要							受講対象別 内訳							学習内容(課題)別					講座の傾向			曜日		共通テーマの連携					無料講師の傾向							
	講座数	回数	定員	応募者数	受講決定者数	延受講者数	倍率	a	b	c	d	e	f	g	1	2	3	4	5	(小計)	館外学習	保育付講座	夜間講座	土・日曜	平日	学校・地域連携講座	公民館サークル	地域(団体・個人)	小中学校	保・幼・高・大	館長	指導員	他部署・県	地域・学校	民間(企業・研究機関ほか)		
								子ども	親子	女性	男性	高齢者	一般	その他	(小計)	教養の向上	レクリエーション	体育	家庭生活																	家庭教育	社会連帯意識
鬼高	12	32	136	283	136	315	2.1			3	1		8		12	8	3		1		12				2	10	1		1					1			
信篤	12	28	144	366	146	302	2.5			1			11		12	10		2			12				4	8	6	3	3				1	1			
東部	10	20	224	314	215	375	1.5			2	1		7		10	5	1	3	1		10				3	7	2		2			3					
柏井	16	30	144	224	206	319	1.1	1	2				10	1	14	8		3	3	2	16				10	6	11		4	5	2					3	
大野	14	31	135	308	136	245	2.3	3		2		1	8		14	7	2	4	1		14	1			8	6	5		4	1			1			1	
若宮	11	20	110	220	103	171	2.1			1			10		11	5	1	2	3		11				5	6	1	1									
市川	17	41	280	630	241	538	2.6			2			15	1	18	11	2	3	1		17				4	13	6	1	4	2			2		3		
西部	12	27	218	465	235	451	2		1	2		1	7	1	12	7	1	2		2	12		1		6	6	4		4			2			1		
市川駅南	13	38	159	443	148	400	3		1	2		2	9		14	7	4		2		13				5	8	3	3	1						1		
曾谷	14	36	282	610	291	545	2.1	1		2			9	2	14	7	4	2		1	14	3			4	10	7	4	3	1			2	3			
行徳	26	56	342	888	351	310	2.5		2	1		1	21	1	26	14	6	4	2		26				10	16	2		2			2		1			
本行徳	16	33	190	352	191	358	1.8	3	1				12		16	9	2	3	2		16	1			5	11	3		1		2	3	3	1			
幸	10	24	120	283	125	276	2.3			1			9		10	5	2	2	1		10				6	4	5	4	1								
南行徳	12	25	260	445	325	426	1.4			1			8	3	12	5	4		1	2	12				5	7	5	4									
菅野	17	33	140	790	140	213	5.6		1	2			14		17	13	2	1	1		17	1			7	10	3	1	2			5		1			
社会教育課	1	2	25	53	28	51	1.9						1		1				1		1				0	1											
合計数	213	476	2,909	6,674	3,017	5,295	2.2	8	8	22	2	5	159	9	213	121	34	31	20	7	213	6	0	1	84	129	64	21	32	9	4	3	13	11	3	11	
割合(%)								3.8	3.8	10.3	0.9	2.3	74.6	7.4		56.8	16.0	14.6	9.4	3.3		2.8	0.0	0.5	39.4	60.6	30.0	32.8	50.0	14.1	6.3						

令和4年度 公民館オンライン講座(年間) 開催状況表

令和5年3月31日

公民館名	実施概要			受講対象別 内訳							(小計)	学習内容(課題)別					共通テーマの連携					無料講師の傾向				
	(オンライン講座)			a	b	c	d	e	f	1		2	3	4	5	学校・地域連携講座	公民館サークル	地域(団体・個人)	小中学校	保・幼・高・大	館長	職員	他部署・県	地域・学校	民間(企業・研究機関ほか)	
	講座数	本数	延視聴回数	子ども	親子	女性	男性	高齢者	一般	教養の向上		レク・育リ・エーション	家庭・生活・教育・	社会連帯意識	職業知識											地域交流イベント
鬼高	1	2	474						1	1	1					1		1								1
信篤	1	1	245						1	1	1					1	1									
東部	3	3	2,901						3	3	1			2							1	1				
柏井	1	1	355						1	1	1			2		1	1									
大野	1	1	8						1	1		1														
若宮	1	2	1,440						1	1				1		1		1					1			
市川	1	1	67						1	1	1															
西部	1	1	683						1	1			1							1						
市川駅南	0	0	0						0	0	0															
曽谷	1	1	94						1	1	1					1	1									
行徳	1	1	273						1	1	1										1					
本行徳	1	2	457						1	1			1			1		1				1				
幸	1	2	1,550						1	1			1							1						
南行徳	1	1	322						1	1			1													
菅野	1	1	111						1	1			1		1	1										
社会教育課*	3	4	375						3	3			1	2								3				
合計数	19	24	9,355	0	0	0	0	0	19	19	7	1	4	9	0	7	4	3	0	0	2	2	6	0	1	
割合(%)				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		36.8	5.3	21.1	47.5	0.0	36.8	57.1	42.9	0.0	0.0						

* Web会議システムによる双方向型講座(社会教育課 1講座 2回 受講申し込み者8人 延出席者10人) 回数は本数に集計、延出席者数は延視聴回数に集計

令和4年度 公民館オンライン講座実施状況（公民館別）

○動画配信（市公式YouTube）

公民館	講座名	動画本数	配信(開催)時期	延視聴回数	公民館別延視聴回数
鬼高	アーカイブ鬼高「過去から未来へ」	2	R4.12.27	391	474
			R5.3.13	83	
信篤	ユーフォニアムとチューバのアンサンブル「ブルバリチュー」を聴いてみよう	1	R5.2.2	245	245
東部	知ろう北方 ぼっけ町今いずこ	1	R4.4.12	316	2,901
	牛乳パックは優れもの！丈夫なゴミ箱に変身	1	R4.5.1	2,391	
	気象予報士Kentaのお天気チャンネル！Part2 ～雲と天気の秘密～	1	R4.9.26	194	
柏井	七宝焼きの魅力-自分だけのアクセサリ-	1	R4.9.28	355	355
市川	鈴木長頼と真間の万葉顕彰三碑	1	R5.3.24	67	67
若宮	若宮さんぽ2 歴史研究家と巡る若宮探訪	2	R4.12.19	988	1,440
			R4.12.19	452	
大野	脳トレクイズでリフレッシュ	1	R5.3.31	8	8
西部	コロナ禍で簡単にできるDIY講座～ワンタッチ網戸の製作～	1	R4.9.30	683	683
曾谷	来て・見て・学ぼう 曾谷公民館	1	R5.3.24	94	94
行徳	羊毛フェルト石鹸を作ってみよう	1	R4.8.15	273	273
本行徳	市川・行徳海苔物語	2	R4.10.14	264	457
			R4.10.14	193	
幸	いきいき健康づくり	2	R4.10.20	790	1,550
			R4.10.20	760	
南行徳	身体のツボを知ろう	1	R4.12.6	322	322
菅野	ようこそ緑の広場へ！”菅野公民館行ってみた”	1	R5.3.24	111	111
社会教育課	ボランティアをやってみよう	1	R4.4.28	256	365
	教えて！初めての選挙	1	R4.7.1	109	

○双方向型（WEB会議システム）

公民館	講座名	動画本数	開催日	参加人数	延参加人数
社会教育課 双方向型	給食から学ぶ1 Week献立	2	R5.3.10	5	10
			R5.3.17	5	

・WEB会議システム1講座（社会教育課）を除き、市公式YouTubeによる動画配信（受講登録制）で実施

	講座名	講座数	本数回数	延人数 (視聴・参加)
合計	動画配信（市公式YouTube）	18	22	9,345
	双方向型（WEB会議システム）	1	2	10
	計	19	24	9,355

令和4年度社会教育課講座の開催状況

1. 「日蓮と市川 ～ 日蓮の生涯と日蓮宗の展開」

開催趣旨	日蓮生誕800周年の機会に、人物の足跡を通して信仰の歴史や市川地域との関わりについて学ぶことで、教養としての仏教の知識を習得し、郷土の文化や史跡への理解と愛着を深めることをねらいとする。
日時	令和5年2月13日・20日 各月曜 10時～11時30分
回数・課題分類	2回 4-6 市内及び県内の歴史や文化、郷土への愛着
場所・対象者	鬼高公民館 一般（市内在住・在勤・在学）
主な内容	鎌倉仏教と日蓮の生涯、日蓮宗の教えと展開、日蓮と千葉県・市川市
講師	立正大学教授 安中 尚史 氏
人数	定員25人 応募者53人 受講決定者28人 延出席者51人
効果と課題	

- ・60歳以上の受講者にも、講座のWeb申込みが浸透してきたことが窺えた。
- ・講義では、日蓮の足跡として市内の寺院との関わりも取り上げたことから、身近な史跡の成り立ちを理解し、愛着が沸いたという声を受講者から寄せられた
- ・博物館や図書館等と連携し、市内の文化財等の学びに繋がる補助資料を事前に収集し、開催時に受講者に提供したり、ポイントを絞って市内の関連史跡を見学するプログラムを加えると、さらに理解を深める効果があると考えられる。

2. 双方向型オンライン講座「給食から学ぶ1Week献立」

開催趣旨	「子どもの成長のための献立」をテーマに、講師と参加者同士で、今日の冷蔵庫を共有したり、相互に意見交換することで、成長期の子供の栄養バランスを考えた献立の立て方や、調理方法などを学ぶ。
日時	令和5年3月10日・17日、各金曜 10時～11時40分
回数・課題分類	2回 3-3 生活習慣病の予防や食育等、健康的な家庭生活
場所・対象者	市役所第2庁舎からZoomにより発信 小・中学生の保護者
主な内容	市川市の学校給食の献立と栄養バランスの考え方、1品追加！これを作っておけば◎、みんなのお悩み相談
講師	市川市保健体育課 栄養士2名
人数	定員30人 応募者9人 受講決定者8人 延出席者10人



効果と課題

- ・受講者が少なかったことで、密に講師と受講者・受講者同士がコミュニケーションをとれた。特に、ひとりひとりの悩みや疑問に講師が丁寧に答える時間があり、問題解決に直結することができた。受講者より「子供が苦手な○○を食べられるようになった」と即時フィードバックもあった。
- ・平日は仕事という保護者も多く、受講者が少なかったため、費用対効果の低さは否めない。今後類似の企画をする際は、小学1年生にチラシを配布したり、未就学児（離乳食終了後）も対象とするなどの配慮が必要と考えられる。

3. 動画配信型オンライン講座

(1) 「ボランティアをやってみよう」

- ・ ボランティア活動の探し方やかかり方の基礎を学び、動画視聴をきっかけに地域での活動に繋がることをねらいとしている。
- ・ 延視聴回数 256回

(2) 「教えて！ 初めての選挙」

- ・ 選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを契機に、若い世代が自身の権利として捉え行動することと、併せて市川市の投票率アップをねらいとしている。
- ・ 延視聴回数 109回

効果と課題

- ・ 市民の課題に関する学習を意図して、勤労者や若い世代がいつでも可能な日時に視聴できる効果を期待し、動画配信型での講座とした。
- ・ 特に、(2)においては視聴回数が伸びなかったことから、新成人や若年層の目に留まりやすい広報のしかたを検討、選定することが課題となる。

令和5年度 前期主催講座・地域連携事業等の概要

1. 前期主催講座

(1) 計画、実施状況

・講座数 105講座 (土曜日曜開催 40講座 学校・地域連携 30講座)

・回数 234回 ・定員 1,637人

* 公民館ごとの内容はミーティアムガイド No.43 のとおり

(2) 関連事項

- ・令和5年度の「市川市公民館主催講座・連携事業等運営方針」の内容をふまえて計画、実施する。
- ・新型コロナウイルスの状況が緩和されたことから、受講定員や開催内容など、特に制限を設けずに実施することが可能としている。
- ・往復はがきのほか、Webでの受講申込みを令和4年度から開始し、今後も継続する。

2. 学校・地域との連携の取組み

- ・令和5年度の「市川市公民館主催講座・連携事業等運営方針」においては新たに、主催する講座やイベント以外での「連携」にも意識的に取組むこととしている。
- ・実施状況を各公民館と社会教育課で共有し、継続や新たな連携に活かしていく。

3. 公民館文化祭の開催

- ・コロナ禍により3年間休止していた「文化祭」の実施を再開する。
- ・開催時期は10月を中心とするが、一部の館で異なる場合がある。
- ・公民館の規模や特徴、利用団体の活動、近隣の学校や地域との繋がりを活かし、公民館ごとに内容を検討し、開催する。
- ・文化祭は利用団体等の日頃の活動成果を披露し合う場であるとともに、地域住民の交流や公民館利用の促進のための機会となる。

令和5年度 公民館主催講座(前期) 開催状況表

館名	実施概要							受講対象別内訳							学習内容(課題)別					講座の傾向			曜日		共通テーマの連携					無料講師の傾向						
	講座数	回数	定員	応募者数	受講決定者数	延受講者数	倍率	a	b	c	d	e	f	g	1	2	3	4	5	館外学習	保育付講座	夜間講座	土・日曜	平日	学校・地域連携講座	公民館サークル	地域(団体・個人)	小中学校	保・幼・高・大	館長	公民館職員	他部署・県	地域・学校	民間(企業・研究機関ほか)		
								子ども	親子	女性	男性	高齢者	一般	その他	(小計)	教養の向上	レクリエーション	体育・生活	家庭教育・生活																社会連帯意識	職業知識
鬼高	9	15	137	446	132	207	3.4					9		9	7		1	1		9				2	7	1		1					1		2	
信篤	6	15	137	263	150	225	1.8			1		4	1	6	2	1	1	1	1	6				4	2	1	1						1			
東部	8	14	150	204	140	162	1.4	1	1			6		8	5	1	2			8	1			2	6	2		1	1			1	1			
柏井	6	14	64	90	39	78	1.7	1		1		4		6	4	2				6				2	4	3	1	1	1			1				
大野	7	17	108	210	101	139	2.1	1	2			4		7	3	1	2	1		7				5	2	1		1			1					
若宮	5	9	56	144	60	95	2.4			1		3	1	5	2	1	2			5	1			2	3	1		1						1		
市川	8	16	114	365	135	225	2.7			1		7		8	3	1	3	1		8	1			4	4	1		1							1	
西部	5	12	112	118	100	165	1.2					5		5	5					5				1	4	1		1					1			
市川駅南	6	18	81	230	81	149	2.8	1		1		4		6	2	2	2			6				1	5	3	1	2								
曾谷	8	27	148	199	139	365	1.4					1	5	2	8	4	4			8	2			3	5	3	1	2					2	1		
行徳	10	21	150	384	119	233	2.7			1		9		10	6	2	2			10	1			1	9							1		1		
本行徳	7	13	78	143	50	96	1.2		1			5	1	7	3	1	2	1		7	1			1	6	2		2				1	1			
幸	6	14	105	163	106	190	1.5		2	1		3		6		2	4			6	1			4	2	6	1	2	2	1						
南行徳	6	11	100	200	113	182	1.8					6		6	4		1	1		6				2	4	1	1									
菅野	8	18	97	288	77	185	3.7		1	1		6		8	4	2	1	1		8	1			6	2	4	2	2								
合計数	105	234	1,637	3,447	1,542	2,696	2.1	4	7	8	0	1	80	5	105	54	20	23	7	1	105	9	0	0	40	65	30	8	17	4	1	0	5	5	2	6
割合(%)								3.8	3.0	0.5	0.0	0.1	3.0	235.4		51.4	19.0	21.9	6.7	1.0		8.6	0.0	0.0	38.1	61.9	28.6	26.7	56.7	13.3	3.3					

1. 令和5年度の「運営方針」との関連による事業報告

(1) 主催講座

① 令和5年度(前期の実績状況)

○年間テーマ: 趣味や知識を広げ市民の健康を支援する。

- ・はじめての写経
- ・多肉植物のミニテラリウム作り
- ・頭と手を揉んで不調改善&リラックス
- ・相続と遺言書についての基礎を学ぶ A、B
- ・あなたの家は大丈夫? 耐震化のススメ
- ・広重と巡る「東海道五十三次」
- ・苔のミニテラリウム作り
- ・江戸の怪異小説を楽しもう

※成果: 健康や趣味、歴史文化の講座は6倍~4倍の倍率となった。

アンケートでは、ほとんどの方が満足している結果となった。

※課題: 耐震化のススメの講座は定員割れを生じた。防災や環境などの講座も必要と思われるが
いかに多くの方の応募を頂けるようにするか。

② 後期計画の視点

- ・幅広い内容のテーマで講座を検討する
- ・若年層が参加できるテーマを検討する



(2) 地域の学習や交流への支援

① 地域活動やボランティア活動への支援(公民館利用)

- ・琴やハンドベルの練習(6中ブロックコミュニティ)
- ・歌や楽器などの練習(エイブロンズ・おにおんクラブ)

② 文化祭の開催(予定)

- ・公民館を利用しているサークルの発表会・作品展示
(来年度以降: 鬼高小学校の生徒の絵画を展示、バザーなど)

③ その他

- ・例年、鬼高公民館長は鬼高小学校学校運営協議会の委員となり、
学校や自治会と横の繋がりを図っている。

2. その他の報告

① サークル活動の周知

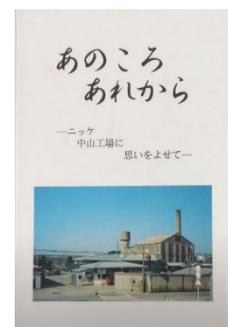
- ・サークルのポスター掲示やサークルの一覧表を窓口で配布
するなどして、積極的にサークル活動への参加を促している。



② オンライン講座(令和4年度に実施)

タイトル「アーカイブ鬼高 過去から未来へ」

- ・前編: 一冊の本「あのころ あれから」より、市川毛織中山工場
での生活や地域との関わりなどを紹介
- ・後編: 現在の鬼高で地域連携の活動を行っている方々を紹介
(鬼越神明社の大祭を担う氏子の方や鬼神睦會、鬼高剣友会
鬼高クラシックバレエ、鬼高自治会長)



1. 信篤公民館の特徴

- （1）所在地：高谷1丁目8-1（東西線原木中山駅より徒歩2分）
- （2）施設：館内：貸室9室・集会室・ミニプール・こども館・地域ケア
敷地内施設：信篤体育館・信篤図書館・スポーツ広場

2. 令和5年度主催講座(前期講座)の実施

◎対面講座

- ・講座の年間重点テーマ：「生涯学習に繋がる健康と教養を深化する講座の実施」
 - ・計画の方針と工夫した点については、長引くコロナ禍で個々の活動が自重されてきた人が多い状況を鑑みて、健康を意識した活動と個人の教養を深化させるべく講座の実施を念頭に置き計画する
 - ・定員緩和により、多数の参加を促し講座を通して生涯学習に繋がられ、楽しみながら、前向きな気持ちが湧いてくるような内容に工夫をする
- ・前期講座
 - 1) 備えよう！水害と地震対策
 - 2) 簡単なリズム体操&ヨガでいきいきと！
 - 3) 日本の世界遺産をきちんと学ぼう
 - 4) 草原を渡る馬頭琴の心地よい旋律
 - 5) 仏像の魅力を楽しく学びませんか
 - 6) 足裏と手の刺激健康法で人生をサポート

3. 令和5年度 地域学習や交流への支援

- ①各県立学校が学校と地域が創意工夫をしながら連携を深め、安全・安心な学校づくりを進めるため保護者や地域の方々と構成する「開かれた学校づくり委員会」に参加(市川特別支援学校)
- ②県立市川特別支援学校主催の「サマーフェスタ」を公民館の駐車場で生徒が育てた野菜や手工芸品、クッキー等の販売の実施に伴い支援 (R5.7.7)
- ③地域の学校(信篤幼稚園・信篤小・二俣小・高谷中・特別支援学校・市川南高)で公民館2Fの廊下の壁を利用し「つながれアート展」を月替わりで展示を実施し、保護者をはじめサークル団体の利用者が鑑賞されている
- ④信篤幼稚園の園児及び地域の小規模保育園の「避難訓練」で公民館の非常階段で屋上避難の誘導支援(非常階段の安全確保)
- ⑤「ミニプール支援」では、信篤幼稚園の園児のプール遊びを夏休みの一般利用前の6月13日から7月14日までの期間利用支援(通路の草刈り、鍵の開閉等)

4. その他

- ・令和5年度は、4年ぶりに文化祭を10月21(土)、10月22(日)の2日間で開催を決定し、現在、開催に伴う利用者協議会、実行委員会(7/15)で準備を進めている
- ・昨年救急搬送が4回発生したが、熱中症対策等利用者に注意喚起していく

◎大野公民館と周辺地域の特色

大野公民館は、市川市の北東部に位置し、昭和56年9月に市内で9番目に開館した公民館で、大柏出張所に併設した地域コミュニティの中心的な施設として活用されています。

周辺地域の特色は、市川の特産品である梨の生産が盛んな地域で、昭和53年のJR武蔵野線の開通や大野地区区画整理事業の完成などにより急速に発展した地域です。

1. 令和5年度の事業報告

（1）主催講座の開催

○ 令和5年度のテーマ： 幅広い世代の学びと健康を支援する

○ 前期（春夏）講座の実施状況

- 1 内匠掘がもたらした市川の発展
- 2 健康へ導く「正しい姿勢と歩き方」
- 3 台湾の家庭料理と中国茶
- 4 着物をリメイク☆ワンピースを作ろう
- 5 親子でシェフに教わるお菓子作り
- 6 シェフに教わるお菓子作り
- 7 親子でFM/AMラジオ作り

実施状況：6月末現在、7講座のうち4講座を実施した。

○ 成果と課題

成果：受講者のアンケート結果から「満足」「やや満足」の割合が100%

課題：ものづくりの趣味の講座が多い傾向

○ 後期（秋冬）講座の検討・計画内容

・座学による対面講座だけではなく、コンサートや館外学習なども取れ入れ、多様な形態の講座を企画したい。

（2）地域の学習や交流への支援

○ 学校や地域等との連携の事例

- ・学校と連携：県立特別支援学校市川大野高等学園と連携し、年5回の販売会を実施
- ・地域と交流：地域交流イベントとして3年ぶりに文化祭を復活

文化祭：10月14日（土）、10月15日（日）

- ・地域団体と連携： 周辺商店会の大野中央商店会と連携したイベントを実施予定

大野中央商店会とのイベント：10月下旬の土日

- ・地域サークルと連携： 地域の自治会サークルが作成した「吊るし雛」を公民館に展示

2. 大野公民館の今後の課題

・施設が老朽化しており、駐車スペースの不足、部屋の音漏れ、Wi-Fi 環境の整備、図書室の利用拡大など、地域住民の多様な要望に対応するため、施設整備の問題を克服することが課題となっている。

【各事業の様子】



公民館フロアで「吊るし雛」の展示



主催講座（着物をリメイク）



主催講座（台湾の家庭料理と中国茶）



主催講座（正しい姿勢と歩き方）

公民館からの状況報告（西部公民館）

◎公民館と周辺地域の特色（市内北西部）

- ★図書室（中央図書館管轄）、こども館、地域ケア国分との複合施設 ※駐車場 30 台強
- ★下総国の国府として、また軍都として栄えた政治と文化の中心として発展した歴史ある地域
- ★中学校、高校、大学、聴覚特別支援学校が立地する学園都市

1. 主催講座の開催

【令和5年度テーマ】：「自分らしく輝くための学び」につながるよう、様々な角度から学習機会を提供する。

①前期（春夏）の実績状況

- | | |
|---------------------------|----------------|
| ●須和田遺跡出土の古代の犬（歴史） | ●色の名前と色彩文化（教養） |
| ●子どもの本の不思議角野栄子さんの魔法（児童文学） | ●切絵の楽しみ（工作） |
| ●初めての手話～はじめの一步～（生活） | |

成果：・地域と関連するものや幅広いテーマを取り扱ったことから、学びを継続したいとの感想が多かった。
・アンケート結果：「満足」・「やや満足」の割合 ➡ 3 講座 100%、1 講座 93%、1 講座開催中

課題：・アンケート結果や窓口で「外歩き」や「体操」など軽い運動を望む意見が多く、それらニーズへの対応

②後期（秋冬）の検討・計画内容

（成果持続の視点から）更に学びの継続を後押しするために、過去の講座と連続性を持たせた講座を行う。
（課題解消の視点から）福祉部と連携した体験教室を開催し、受け皿となる団体活動につなげる。

- | | | |
|----------------------|-------------|-------------|
| ●東京湾の歴史と市川（歴史：館外活動）※ | ●ゆったり体操（運動） | ●落語（教養）※ |
| ●曼荼羅アート（アート・工作）※ | ●書道（教養） | ※は過去実施分を深掘り |

2. 地域連携の取り組み（西部公民館としての仕組みづくり）

- ① 柏井公民館に伺い、学校との連携について詳細を伺う。 (R4 年 7 月)

先行事例を再現するための3ステップ ①マッピング ②マッチング ③ミーティング ※裏面図参照

- ② 中国分小・国府台小に、R4 後期主催講座の PR 協力等を相談 (R4 年 8 月)
- ③ 国府台小学校 2 年生が町探検で西部公民館を見学 (R4 年 11 月)
- ④ サークル団体にアンケート調査を実施 (R5 年 2 月)
- 配布件数：88/121 団体
 - 回答件数：69（回答率：78%）

協力連携できる団体：36（サークル見学 29、サークル体験 24、学校で活動紹介 11）

- ⑤ 中国分小学校運営協議会に参加（2 年任期） (R5 年 5 月)
- ⑥ 第一中学校運営協議会に参加（オブザーバー） (R5 年 6 月)

<今後の予定>

- ★中国分小学校 PTA のイベント会場として公民館を利用
- ★11 月の「一中フェスタ」での人材リストの活動協力

「地学館連携」構築への3ステップ



① 官民施設の洗い出し（マッピング）

教育、文化、福祉など
関連施設を地図上に落としこむ

② 公民館の人材リスト作成（マッチング）

公民館の利用団体に、連携できる活動内容を調査しリスト化する。



③ 関連施設との協議（ミーティング）

学校運営協議会など、実質的な協議の場での意見交換を行う

1. 市川駅南公民館の特徴

市川駅より徒歩圏内であり、バス停から3分、駐車場もあることから交通の利便性は良い立地である。

建物は「こども発達センター内」にある施設であり、「こども館」や「いきいきセンター」「発達支援課」などの施設が館内にある複合施設である。

2. 令和5年度の「運営方針」との関連による報告

（1）令和5年度主催講座の開催について（前期）

・年間テーマ：心身の活性化とゆとりとやすらぎを与える

コロナ禍の制限が無くなりつつある中で、生活にゆとりを与えることができる講座を検討した。複合施設である当館の利点を活かし、こども館やいきいきセンター利用者などのニーズにも合わせた講座を選定した。また、既存サークル活動の活性化を図る講座も視野に入れ検討した。

① 令和5年度 前期の実績報告

1. ガーデニング入門～寄せ植えまで
2. 和紙のちぎり絵・紫陽花にチャレンジ！
3. 健康体操で心も心身もリフレッシュ
4. シニアのためのゆったりフラ
5. キッズのためのヒップホップダンス
6. 楽しい韓国語

② 成果

まだ全てが終了していないが、講座申込みの倍率は2～4倍であり、利用者アンケートの結果では満足度も高く、サークルへ入会した方もいたことから、目的達成に繋がったと思われる。

③ 後期講座について（予定）

コロナ禍で出来なかった調理実習室の利用や、館外利用の講座など幅広く視野に入れた講座を検討する。また、既存のサークル活動の活性化を図る講座も引き続き検討する。

1. ウォーキング入門
2. ショパンを知る！（演奏・語り）
3. はじめてのバンドテニス
4. Xmas とバレンタインのケーキ作り

5. 韓国料理とキムチ作り
6. はじめての将棋

(2) 文化祭の実施について

- ① 実施日 令和5年9月30日(土)～10月1日(日)
- ② 内容 サークル活動の展示と舞台発表、茶席、模擬店など
- ③ 地域連携 近隣の保育園、幼稚園、小学校などからの作品展示及び吹奏楽の演奏による参加
- ④ 特色 公民館の隣に大洲小学校があり「学校運営協議会」の委員として参加していることから、学校や地元自治会や子供会、民生委員などの方々との繋がりを図りながら運営している。

3. 課題と今後の対応

- 長年活動しているサークルは高齢化しつつあるため、主催講座に取り入れて活性化を図り、メンバーやミーティアム役員の若返りを目指す。
- 市川駅南口から「ゆうゆうロード商店会」を通り公民館へと向かう途中に、宮田小学校、大洲小学校と同じ通りにあるが、宮田小学校とは文化祭の作品展示の協力をお願いしているだけで、あまり交流がない。今後の課題として文化祭以外の日常の作品展示などを検討中。
- 公民館利用者を増やすことを目的として、地域等の交流を図りながら公民館のことを知ってもらい公民館の利用に繋げる。

公民館周辺の特徴

東京メトロ東西線の妙典駅と行徳駅のほぼ中間に位置しており、目の前には中江川緑道があり、花や樹木に囲まれた自然豊かな環境である。利用者は幸・宝、塩焼地区に住んでいる方が多く、開館時から地域に根差した親しみのある公民館である。

目指す公民館の姿

～笑顔で活動に満足できる公民館～

- 重点目標・・・利用者の掘り起こし（若年・中高年層、夜間利用等）
- 主催講座の内容充実と継続学習の支援（サークル化等）

1. 令和5年度の「運営方針」との関連による事業報告

(1) 主催講座の開催

【年間重点テーマ】

～学びたい、実践したい気持ちを大切にした講座の実現をめざして～

○前期講座（計6講座）

- ・はじめてのフラダンス・・・既存サークルとの連携、支援
- ・レベルアップヨガ・・・若い年代の利用拡大
- ・円満な相続、遺言講座・・・利用者のニーズ
- ・親子フリスビー教室・・・親子年代の利用拡大
- ・ピザと米粉パンづくり・・・調理室の活用による利用促進
- ・親子の英語教室・・・親子年代の利用拡大

○後期講座（計5講座 予定）

- ・和菓子づくり・・・調理室の活用による利用促進
- ・高齢者向け体力維持運動・・・利用者のニーズ
- ・鍋帽子作りとエコクッキング・・・調理室の活用による利用促進
- ・ドライフラワーで作るしめ縄飾り・・・季節感のある講座
- ・フルーツとピアノトリオコンサート（楽器体験含む）
- ・・・サークルの学習成果の活用と交流

○オンライン講座（R5、10月初旬頃 配信予定）

テーマ いきいき健康づくりⅡ～快適な睡眠のしくみ～

動画① 睡眠のしくみについて（講義）

動画② 快適な睡眠のためのマッサージ&体操（実技）

※R4 いきいき健康づくり「がんのしくみと予防」・「呼吸を整えて体幹力 up」
の2本 現在公開中

※R3 「変わり種ギョウザをつくってみよう」1本 現在公開中

(2) 令和5年度 地域の学習や交流への支援

①幸小学校との交流

幸小学校の児童の絵画作品を公民館に毎月展示し、文化的交流の実施。
毎月各学年16～20人分作品 延べ約120作品を掲示。

②文化祭での児童生徒の作品展示

公民館と学校との交流として、幸小、塩焼小、南新浜小、妙典中、福栄中
の児童生徒の作品等の展示を広範囲の学校を対象に実施

③GSA 総合型地域スポーツクラブとの連携

GSAの事業の会議の開催、文化・スポーツ活動（太極拳・英会話・書道）の開催
場所の提供（有料）

2 その他の報告

(1) 文化祭の予定（幸公民館サークル協議会と公民館の共催事業）

令和5年10月15日（土）展示、発表

// 16日（日）展示、発表

福祉施設の販売（予定）、ウォーキングイベントの講評等

(2) 公民館主催 ウォーキングイベント開催（R5新規）

9月1日～30日1か月間、健康づくりイベントとして「いきいきウォーキン
グ」を実施。全員に参加証を配付。アルコの事業と連携したい。

3 幸公民館の課題と今後の取り組み

(1) 講座の充実、サークル活動のさらなる活性化（幅広い利用者の確保）

(2) 公民館を中心とした地域（学校、自治会等）との交流の深まり

(3) 公民館施設や人材を積極的に活用する「開かれた公民館」づくり

(4) 集会室の利用の明確化

(5) 老朽化した施設・設備の修理及び修繕

公民館からの状況報告(菅野公民館)

1 令和5年度の「運営方針」との関連による事業報告

(1) 主催講座の開催

① 令和5年度前期主催講座

・実施状況

写真講座「市川の魅力再発見」、古武術(居合)に学ぶ美しい所作、木彫講座円空彫り入門、多肉植物のミニテラリウム、家族と一緒に広場であそぼっ!、要介護予備軍返上棒びくすで体幹強化、苔のミニテラリウム、世界で一つのアクセサリ作り

・成果と課題

6月16日現在、8講座中「古武術(居合)に学ぶ美しい所作」「多肉植物のミニテラリウム」「苔のミニテラリウム」の3講座が終了し、受講者アンケートではいずれも満足度が高く高評価を得た。「古武術(居合)に学ぶ美しい所作」はサークル化の動きもある。課題は若年層への周知である。「家族と一緒に広場であそぼっ!」は若年層を対象としているが、若年層は新聞を購読していない家庭も多くミーティアムガイドを見る機会が少なくなり応募が低調となった。周知方法を工夫する必要がある。

② 次期計画の視点

前期は「家庭教育・家庭生活」「職業知識・社会連帯意識」が各1講座であったので、後期は5項目バランスよく実施したいと考えている。

③ オンライン講座の取組み

今年度は「市川の文化人/式場隆三郎(仮称)」を予定している。



『奉免の常磐井姫』(ほむめのときわいひめ)

喜ぶ顔より宮久保の入り江にながれつた皇女の物語。いちかわの地に伝わる民話を優しいフルートの音とともに紙芝居による読み聞かせでお届けします。

公開期間 2021年6月28日(月)~9月30日(木)

対象者 市民に在籍・在学・在学

費用 無料(受講料は受講者負担)

申込方法 下記の公式Webサイトより、必要事項を入力し申込み

市川市 公民館オンライン講座

市川市WebサイトURLはこちら

https://www.city.ichikawa.lg.jp/edu/12/1111000005.html

■受講料はインターネット上での申し込みで無料です。

■ご質問できる時間帯をご確認ください。

企画: 菅野公民館 TEL047-322-7761

市川市教育委員会 生涯学習部 社会教育課 TEL047-320-3343



『御代の前』(みよのまへ)

平将門討伐の命により関東に下った菅野氏とその妻の物語。市川の菅野に伝わる「御代の前」の話を描いたお話です。フルートの音とともに紙芝居による語りをお届けします。

公開期間 2021年10月25日(月)~2021年12月27日(日)

対象者 市民に在籍・在学・在学

費用 無料(受講料は受講者負担)

申込方法 下記の公式Webサイトより、必要事項を入力し申込み

市川市 公民館オンライン講座

市川市WebサイトURLはこちら

https://www.city.ichikawa.lg.jp/edu/12/1111000005.html

■受講料はインターネット上での申し込みで無料です。

■ご質問できる時間帯をご確認ください。

企画: 菅野公民館 TEL047-322-7761

市川市教育委員会 生涯学習部 社会教育課 TEL047-320-3343



『のぞいてみよう浪曲の世界』

落語とも講談とも違う浪曲の魅力もぜひ味わおう! 「浪曲入門」と「浪曲鑑賞」の二本立てでお届けします。鑑賞編曲は「桃太郎伝説の天竺」編曲: 高木浩之

公開期間 2021年12月28日(水)~2022年3月31日(木)

対象者 市民に在籍・在学・在学

費用 無料(受講料は受講者負担)

申込方法 下記の公式Webサイトより、必要事項を入力し申込み

市川市 公民館オンライン講座

市川市WebサイトURLはこちら

https://www.city.ichikawa.lg.jp/edu/12/1111000005.html

■受講料はインターネット上での申し込みで無料です。

■ご質問できる時間帯をご確認ください。

企画: 菅野公民館 TEL047-322-7761

市川市教育委員会 生涯学習部 社会教育課 TEL047-320-3343



『菅野公民館行ってみた』

「ここは公園ですか?」はい! 市民の誰もが自由に使える広場です。広場のある菅野公民館を覗いてみよう! 超ベテランから初心者まで年齢に関係なく、同好の士が集い日本もイキキ活動中です!

公開期間 2023年3月24日(金)~2024年3月31日(日)

対象者 市民に在籍・在学・在学

費用 無料(受講料は受講者負担)

申込方法 下記の公式Webサイトより、必要事項を入力し申込み

市川市 公民館オンライン講座

市川市WebサイトURLはこちら

https://www.city.ichikawa.lg.jp/edu/12/1111000005.html

■受講料はインターネット上での申し込みで無料です。

■ご質問できる時間帯をご確認ください。

企画: 菅野公民館 TEL047-322-7761

市川市教育委員会 生涯学習部 社会教育課 TEL047-320-3343

【R3 奉免の常磐井姫】

【R3 御代の前】

【R3 のぞいてみよう浪曲の世界】 【R4 ようこそ緑のひろばへ!】

(2) 地域の学習や交流への支援

① 学校や地域等の協力や連携による実施の事例

社会福祉協議会と連携「菅野オリンピック」、サークルと連携「夏季作品展」、学区コミュニティスクールと連携「星空観望会」、小学校と連携「町たんけん(公民館見学)」

2 広場の活用

(1) 概要

本公民館には広場(縦90メートル横40メートル全面芝生)があり、市民の方が自由に利用できるようになっている。保育園の子供たちが遊んだり、高齢者が定期的にグランドゴルフを行ったりしている。また、広場を生かした主催講座やイベント等も実施している。

広場の一面には「ネクスコの杜」という緑地帯がある。外観道路工事により廃止となった菅野3丁目公園樹木をNEXCO東日本の協力により移植した場所である。四季折々の花が咲き、近隣住民の憩いの場となっている。

課題は広場の管理維持である。特に草刈りは困難を極めており、社会教育課に大型芝刈り機を購入していただき、広場利用団体の協力を得ながら年に4回程度実施している。また、夏場の水遣りは家庭用スプリンクラー3台を活用して、毎日朝夕に各1時間掛けて行っている。

(2) 利用人数 1日平均約70人が利用

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開場日数	299日	216日	207日	257日	263日
利用人数	21,959人	19,105人	14,363人	16,538人	15,489人



【広場全景】



【ネクスコの杜】